



SCB

ニュース&トピックス

No.2024-169

(2025.3.13)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

上席主任研究員 井上 有弘

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

データで読み解くこれからの信用金庫経営（48） 「金利の上がる世界」での貸出金利の動向

— 足元では業態間の追従率の違いが大きい —

ポイント

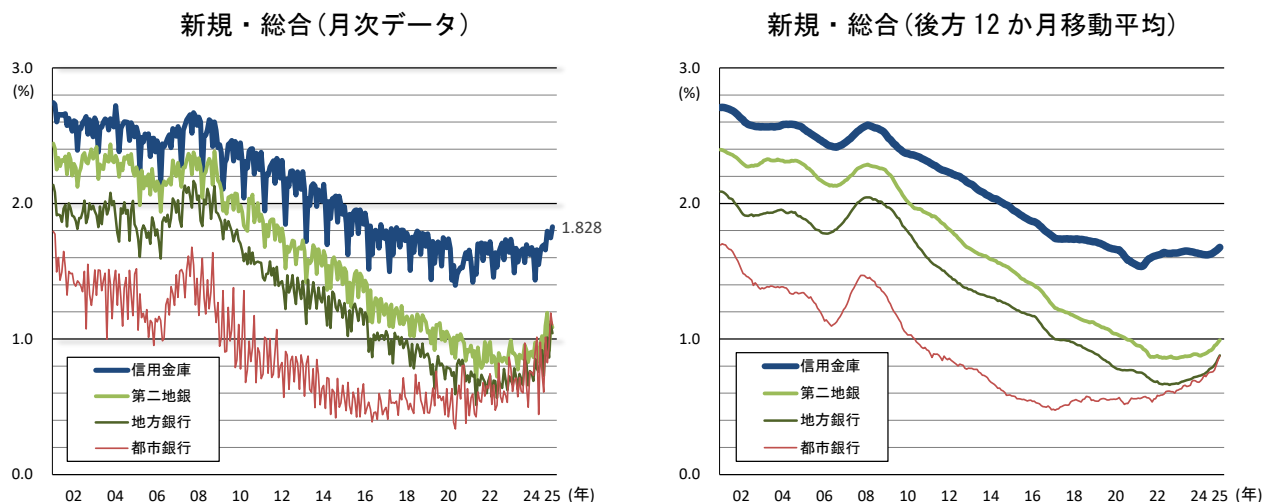
- 信用金庫の2025年1月の新規の貸出約定平均金利は1.828%となった。同金利が1.8%台となるのは17年11月以来約7年ぶりであり、貸出金利引上げの動きが確認できる。
- 対して、ストックの貸出約定平均金利の足元の水準は相対的に低い。25年1月末の信用金庫のストック・総合の貸出約定平均金利は1.499%とほぼ1.5%である。
- 「金利の上がる世界」での貸出金利の追従率は、足元では業態間の違いが大きい。金利上昇局面では、能動的な金利引上げによる適切な「価格転嫁」が求められる。

1. 新規の貸出約定平均金利

日銀が2025年1月の貸出約定平均金利を公表した。1月24日の政策金利の0.5%への引上げ後を含む、最新の貸出金利となる。同データによると、信用金庫の1月の新規・総合¹の貸出約定平均金利は1.828%となった(図表1)。同金利が1.8%台となるのは17年11月以来約7年ぶりであり、信用金庫においても貸出金利引上げの動きが確認できる。

業態別にみると、都市銀行をはじめとした銀行各業態に比べて、信用金庫の貸出金利引上げの動きは遅れていた。ただし、昨年秋頃からは、短期の新規貸出を中心に貸出金利引上げの傾向が明確になっている。

(図表1) 業態別の貸出約定平均金利(新規・総合)



(備考) 日銀資料より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

¹ 新規は、当月末貸出残高のうち当月中に実行した貸出(書替継続を含む。)にかかるもの。新規の総合は当座貸越を除く。

2. ストックの貸出約定平均金利

前述の新規に対して、ストックの貸出約定平均金利の足元の水準は相対的に低い。25年1月末の信用金庫のストック・総合の貸出約定平均金利は1.499%とほぼ1.5%である(図表2)。ストックは当月末時点で残高のあるすべての貸出の金利であるため、「金利の上がる世界」では、新規より金利上昇に時間を要するためである。

3. 貸出金利の上昇幅

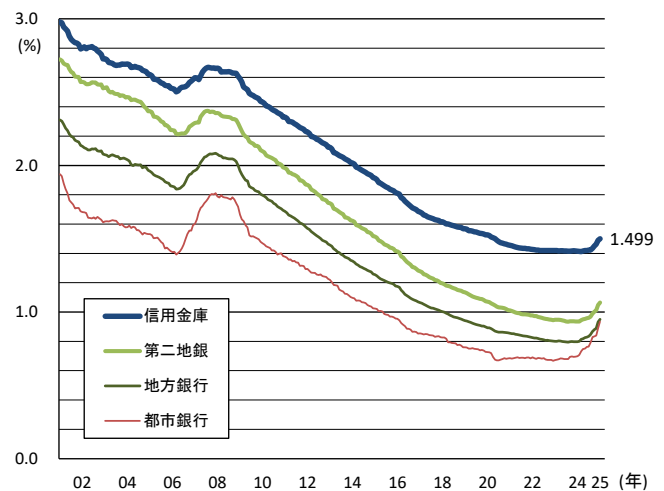
上昇に転じた貸出金利であるが、その上昇幅は業態による違いが大きい。マイナス金利政策解除の前月である24年2月からの上昇幅は、大きい順に都市銀行、地方銀行、第二地銀、信用金庫となっている(図表3)。マイナス金利(-0.1%)から7月利上後の政策金利0.25%までの0.35ポイントに対する上昇幅の割合である追随率は、都市銀行では約5割である。他方、地方銀行は約4割、第二地銀は約3割、信用金庫は2割に届いていないなど、足元では業態間の違いが大きい。

要因として、信用金庫では銀行に比べて市場金利に連動した貸出が少ないことがある。また、小規模な企業への貸出が多く、基準金利や貸出金利の引上げにより丁寧な対応が必要なことが考えられる。

25年3月に基準金利を上げた信用金庫も多く、今後は貸出金利の上昇が期待される。かつての金利低下局面では、ストックの貸出金利の低下は市場金利の低下に遅れるため収益確保に寄与した。対して、金利上昇局面において預金金利の上昇に見合った貸出金利を確保するためには、能動的な金利引上げによる適切な「価格転嫁」が求められる。

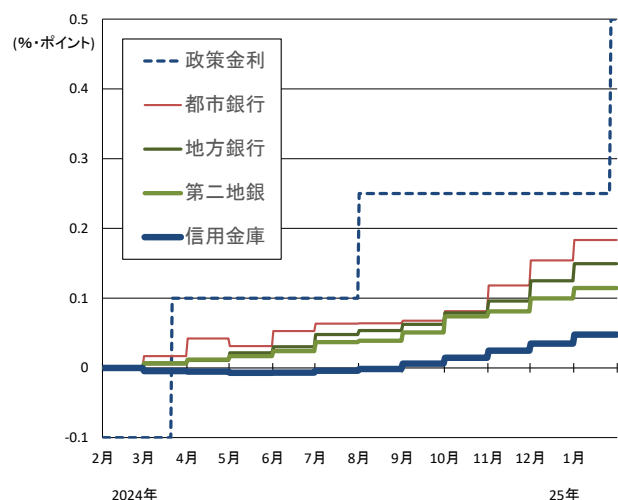
以 上

(図表2) 業態別の貸出約定平均金利(ストック・総合)



(備考) 日銀資料より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表3) 業態別の貸出金利上昇幅



(備考) 1. 日銀資料等より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 新規・総合(後方12か月平均)の2024年2月からの上昇幅

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>)に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。